坂井東小学校

１学年実践　　楽しみながら読み取る力をつけるための図書館活用

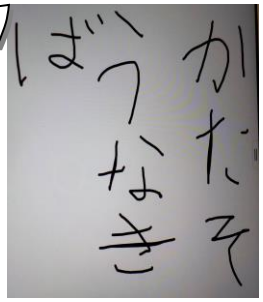
１年生６月，国語「くちばし」の学習で，生き物の生態について書かれている図書館の本を活用した。

教科書で，「これは，なんのくちばしでしょう。」と問いがあり，「これは，きつつきのくちばしです。」と答える説明文の学習をした。その文章の構成を生かし，「これは，なんの〇〇でしょう」クイズ大会を行った。

まず，図書館から生き物について書かれている本を借りて読み，何について問題を出すか決めた。次に，「問い」の写真と「答え」の写真を iPad で撮った。そして，ロイロノートを使って問題のカードと答えのカードを作り，データで教師に提出した。

後日，提出されたカードをテレビの画面に映して，クイズ大会を行った。体の一部分を映し，「かたそうなきばです。これは，なんのきばでしょう。」と児童が問題を出した。からだの一部分が映ると児童からは歓声があがり「え～，なんだろう。」と真剣に考え，とても盛り上がったクイズ大会となった。

問い



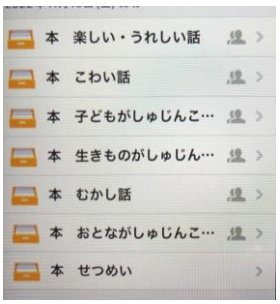
答え

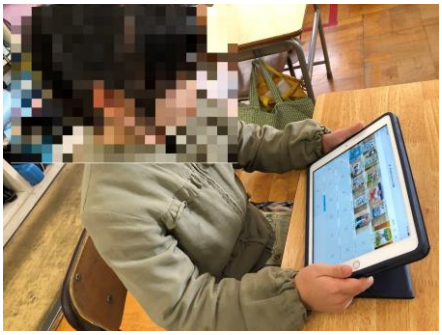
２学年実践　子どもが進んで本に親しむ読書活動
～子どもが本を手にとるための手立ての工夫～

２年生７月，国語「お気に入りの本をしょうかいしよう」の単元があった。iPad で自分の気に入った本の表紙を写真に撮り，画面に映しながら話をした。友達の話を聞き，紹介された本を借りる児童が多かった。友達がすすめる本は，児童にとって何よりも興味をもつものである。

そこで，ロイロノートで「２年□組　本の紹介コーナー」を作ることにした。児童にどんな本が読みたいか聞き取り，「楽しい・うれしい話」「こわい話」「生き物が主人公の話」「子どもが主人公の話」「大人が主人公の話」「昔話」などのジャンルに分けて提出箱を作った。子どもたちは面白かった本に出合った時に写真を撮って提出した。自由に「本の紹介コーナー」を見て，読んでみたいと思う本を選んでいた。今後も児童の要望によって，ジャンルを増やしていく。

１２月国語「わたしはおねえさん」の単元の終末に，同じくらいの年の子が出てくる話を読み感想を描く学習があった。そこでも，この「本の紹介コーナー」が大活躍で，「子どもが主人公の話」から本を選ぶ子が多かった。





坂井東小学校

３学年実践　読書の世界を広げる図書館活用

３年生７月，国語「初めて知ったことを知らせよう」「鳥になったきょうりゅうの話」の学習で，科学読み物や図鑑といった，科学的な内容を取り上げた本に出会わせ，読書の幅を広げるために図書館の本を活用した。

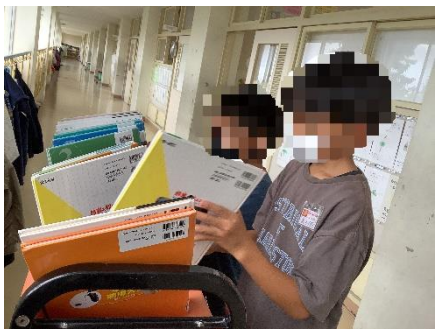
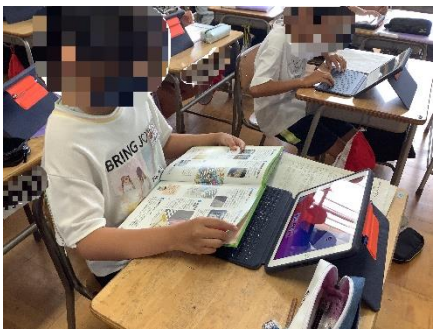
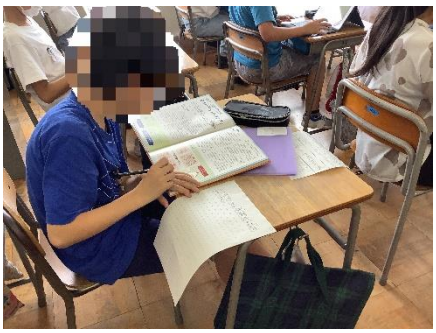
まず，自分が読みたい本を探し，その選んだ本の中で初めて知ったことを見つけながら読んだ。興味をもったことや，初めて知ったところには付箋などで印をつけ，発表メモを作成した。ロイロノートに本を読んで初めて知ったことを写真などを入れながらまとめ，友達に発表した。友達の発表で，初めて知ったことに興味をもち，友達が読んだ本を読んでみたいという児童もいた。

また，この学習では目次や索引など，本を使って調べる際に活用したい内容についても学ぶことができた。

４学年実践　情報センターとしての図書館活用

４年生９月，総合的な学習の時間「共に生きる」の学習で，図書館の本を活用した。４月から福祉について学習を始め，たくさんのゲストティーチャーから話を聞いていた子どもたちは，各自でテーマを設定して調べ学習を行った。

子どもたちは，本のタイトルや目次を参考にして本を選び，情報を集めていた。インターネットも併用して調べ学習をしていたため，それぞれの良さを生かしながら調べる姿が見られた。子どもたちが気付いた本の良さは，文章が読みやすいことと，情報が正確であることである。情報を集めた後，子どもたちはロイロノートに調べたことをまとめ，発表会を行った。いろいろな方法で情報を集めたことで，同じようなテーマでも発表内容に違いが生まれ，子どもたちは興味をもって友達の発表を聞くことができていた。

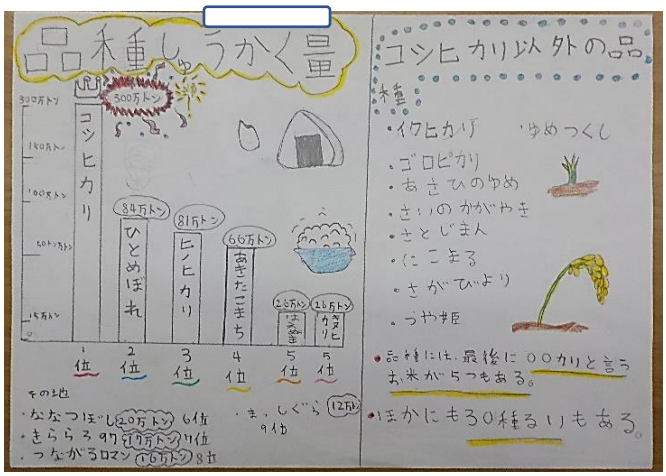




坂井東小学校

５学年実践　課題解決に向けた本や資料の活用

総合的な学習の時間に「食育」に関する学習を行った。特に自分たちに身近な「米」について，学校田の田植え体験をはじめ，JA の職員の方からも米作りにおける課題についての講話を聴いた。

子どもたちは，米作りに関わる方の生き方や思いに触れたり，米作りに関わる仕事を体験したりする中で，米や米作りに対する課題を見付け，調べ学習を行った。「米作り」に関する本や資料から自分のテーマとなる課題を解決する情報を集め，メモにまとめた。時には，個人のタブレットからキーワードを入力して検索した。



集めた情報をもとに，調べて分かったことをまとまりごとに整理して記入したり，図やグラフなどの資料を取り入れたりして，自分が調べた内容が分かりやすく伝わるように工夫してポスターに表現していた。

今後も，総合的な学習の時間や国語・社会の学習等で資料を活用して説明したり，情報を読み取ったりする力が高められるよう，図書館を活用していきたい。

６学年実践　目的に合わせた資料選び　～図書館と iPad の活用～

６年生の６月・総合「自分たちにできること」の学習で，iPad と図書館の本を活用した。「佐渡の魅力はどんなところにあるか」を課題に自分のテーマに限らず，佐渡の歴史，自然，観光，それに携わる人について本を何冊か読み込み，学習の下支えにした。国語「情報と情報をつなげるとき」の学習と併行し，図書の引用の仕方を学習して，参考文献をロイロノートのテンプレートで記録する学習も行った。地元紙やパンフレットもあり，どんな施設かを調べるために写真を多く載せたものや iPad も徐々に使用した。

また，国語「利用案内を読もう」の学習と併せてパンフレットから調べるとよい本と WEB 上で調べた方がよいものも理解しながら進めることができた。

佐渡の魅力を調べるためにさらに自分が調べる視点の入り口を決め，テーマに沿ってその参考となる図書，iPad を活用し，実際の体験に備えることができた。

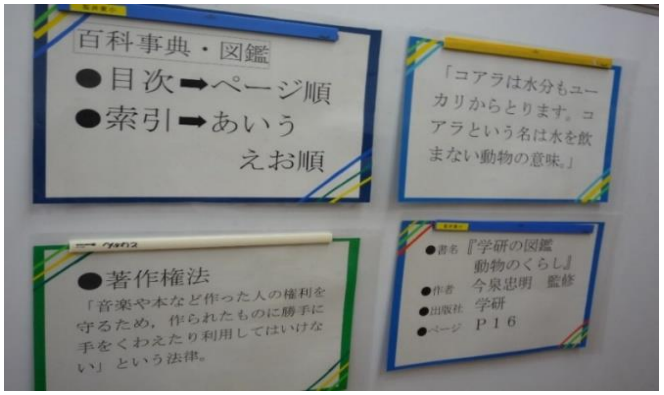
坂井東小学校

＜司書実践事例１．読書センター・学習センターとして　小・中学校連携＞

①お薦めの本ポスター・・・読書旬間に小・中学校各校で作成しているお薦めの本のポスターを掲示し，他校の情報を共有する。
②貸出券パスポート・・・６年生のみ年間２００冊借りると中学校で+2 冊貸出券パスポートがもらえる特典を共有する。
③図書館オリエンテーション・・・内容を共有し，特に著作権について小学校で揃えることで中学校へ繋げる。

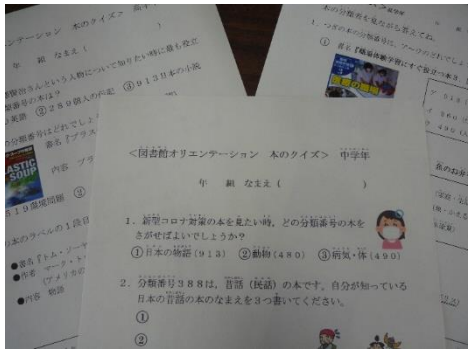
①　各校のお薦めの本ポスター

②　貸出券パスポート



③　オリエンテーションで使用の掲示物

③　オリエンテーションの際に
百科事典と十進分類表を用意



③　オリエンテーションで使用する
クイズ

坂井東小学校

＜司書実践事例２．学習センター・情報センターとして　資料の活用＞

①新聞記事の活用・・・　図書館や本，学校に関する記事を掲示。新聞記事に関心をもたせ，新聞や本を読むことへ繋げる。

②電子図書の活用・・・　電子図書と本の利点欠点を説明し，ｉＰａｄを使用して公共図書館のサイトを紹介する。

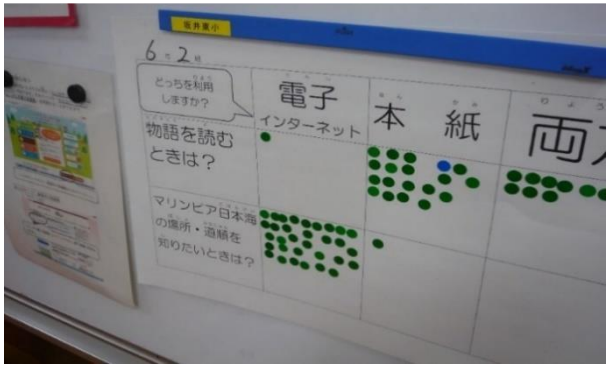
③百科事典ポプラディアの活用・・・学校図書館の役割と百科事典を一緒に展示する。百科事典付属のクイズシートも展示し，活用を促す。

①　新聞記事と関連する本の展示

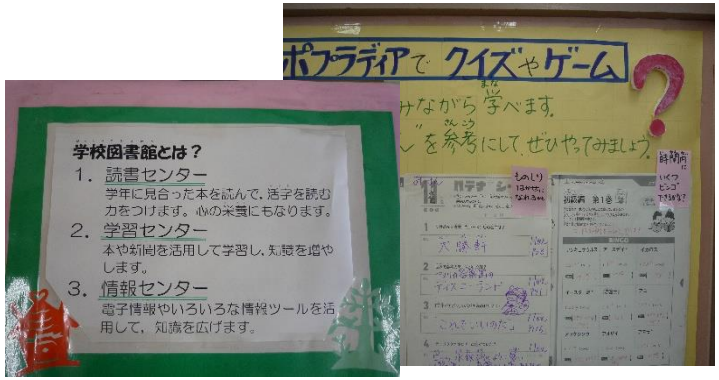
②　ｉＰａｄで公立図書館のキッズページと電子図書を説明

③　ポプラディアを見やすい場所に展示

①　教科書掲載の本と関連の新聞記事



②　上記写真で説明後，電子と本のどちらを利用したいかをシールを貼って確認



③　学校図書館の３つの役割とクイズシートの見本の展示